

(国民生活のためのデフレ脱却及び財政再建に関する調査会)

国民生活のためのデフレ脱却及び財政再建に関する調査報告(中間報告) 要旨

本調査会は、第百八十四回国会、平成二十五年八月七日に設置され、第百八十五回国会においては、三年間の調査項目を「デフレからの脱却と財政再建の在り方など経済状況について」と決定した後、参考人から意見を聴取し、質疑を行った。

第百八十六回国会においては、デフレからの脱却と財政再建の在り方など経済状況について、参考人から意見を聴取し、質疑を行った。続いて、委員間の意見交換を行った後、これまでの調査を調査報告書(中間報告)として取りまとめ、去る六月十一日、議長に提出した。

同報告書では、長い景気停滞期にあった我が国において、アベノミクスの登場による経済状況の好転の動きがある中、引き続きデフレ脱却の努力を間断なく継続しなければならないとの認識の下に、積極的かつ柔軟な財政政策とこれに連携した金融政策の推進、国民の安心・安全への投資、賃上げの実現と雇用の確保、法人税減税及び消費税増税の取扱い、東京一極集中の排除と地域経済の活性化、人口減少社会への対応等について、八項目の提言を行っている。